

日本ユニシス株式会社

2011年3月期決算説明会（2011年5月10日開催）

主な質疑応答

（ご理解いただきやすいよう表現を変更している箇所があります。）

■ 2011年3月期の実績について

Q：震災により、どの程度影響があったのか教えて欲しい。

A：2011年3月期については、物流やメーカーからの出荷遅れ等によりハードウェア製品を中心として、売上42億円、総利益8億円程度の影響があった。このうち、ほとんどの部分（37億円）は今期へスリップしている。また、客先との商談に影響したことにより、今期予定されていた案件で30億円程度の受注機会損失があった。

■ 2012年3月期の業績見通しについて

Q：上期の利益計画が強いようだが、何か特定の大型案件の計上が予定されているのか？

A：上期計画の前提として、特定の大型案件の計上が予定されているわけではないが、前期は、3月末に売上が集中しているため震災が大きく影響したことを反省し、今期は四半期業績の平準化に注力していく。

Q：今期、メインフレームで大型賃貸契約の終了があるとのことだが、今後もメインフレームが急激に落ち込む予定があるか？

A：今後、これほど急激な落ち込みは想定していない。自治体、電力会社や金融機関大手などメインフレームのユーザは限られている中で、今回の契約終了の影響が最も大きい。

Q：売上の見通しをたてる上で、電力向けをどういう前提でみているか教えて欲しい。

A：電力業界向けの事業は、前期より回復の兆しにあったが、今回の震災によりリスクが高まったものと認識している。ただし、現時点では中断・中止などの影響は最小限に留められており、当社が手掛けている2件の新規開発案件についても継続するというお話をいただいている。今後の展開に不透明感は強いものの、現時点で想定するリスクはある程度織り込んで計画を立てている。

（注）本資料で記述しております業績見通し等の予測数値は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。